

2008 年度

科目名 英文学研究Ⅱ	対象学科・学年 研究科前英1回生 研究科後英1回生	担当者 竹村 義和
授業テーマ 小説の技巧		
授業の概要と目標 昨年度に引き続いて David Lodge の <i>The Art of Fiction</i> を読みながら、英米の小説を味読するための基本的な技巧について勉強します。		
評価方法 出席50、レポート50		
テキスト <i>The Art of Fiction</i> 詳しくは最初の授業時に指示します。	著者 David Lodge	出版社
参考書	著者	出版社
授業スケジュール・内容 1 ティーンエイジ・スカース (J.D. ・サリンジャー) 2 書簡体小説 (マイケル・フレイン) 3 名前 (デイヴィッド・ロッジボール・オースター) 4 場の感覚 (マーティン・エイミス) 5 リスト (F・スコット・フィッツゲラルド) 6 人物紹介 (クリストファー・イシャウッド) 7 驚き(ウィリアム・メイクピース・サッカレイ) 8 時間の移動 (ミュリエル・スパーク) 9 テクストの中の読者 (ロレンス・スターン) 10 天気 (ジェイン・オースティン/チャールズ・ディケンズ) 11 凝った文章 (ウラジーミル・ナボコフ) 12 間テキスト(ジョゼフ・コンラッド) 13 実験小説 (ヘンリー・グリーン) 14 コミック・ノベル (キングズリー・エイミス) 15 マジック・リアリズム (ミラン・クンデラ) 16 表層にとどまる (マルカム・ブラッドベリ) 17 複数の声で語る (フェイ・ウェルドン) 18 過去の感覚 (ジョン・ファウルズ) 19 未来を想像する (ジョージ・オーウェル) 20 エピファニー (ジョン・アップダイク) 21 偶然(ヘンリージェイムズ) 22 怪奇：エドガー・アラン・ポオ 23 物語構造：レナード・マイケル図 24 アポリア：サミュエル・ベケット 25 シュルレアリスム (リオノーラ・キャリントン) 26 アイロニー (アーノルド・ベネット) 27 動機づけ (ジョージ・エイリオット) 28 言外の意味 (ウィリアム・クーパー) 29 題名 (ジョージ・ギッシング) 30 思想 (アントニー・バージェス)		